

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年7月29日17時00分
近畿地方整備局
道路部
防災室・災害対策マネジメント室
福井河川国道事務所

おおのかみはんばら
国道158号 大野市 上半原(福井県管理)の斜面崩壊に対する
国土交通省の支援状況について【第4報】

3月19日に発生した福井県管理の国道158号大野市上半原における大規模な斜面崩落<参考①>に対しては、7月18日に仮設道路(迂回路)に切り替えを行い通行止めが解除されたところですが、引き続き、国土交通省より、以下の支援を実施しております。

<国土交通省の主な支援状況> ※下線部は【第3報】からの更新箇所

- 被災状況の把握や今後の対応にかかる福井県との迅速な連絡調整を図るため、福井県奥越土木事務所にリエゾン(職員)のべ2名を派遣(3月21日で撤収)
- 被災状況の把握や二次災害の発生を防ぐため、Ku-SAT(衛星通信機器)を使用し、衛星通信回線を活用した監視体制を国、福井県、大野市で構築
これにより、遠隔での常時監視や福井県が実施するドローン調査についてリアルタイムに確認可能(5月27日で撤収し、その後は県システムに移行)
- 3月21日に福井県が実施した専門家による現場視察には、リアルタイムの被災状況把握、関係機関の連絡調整等が円滑に行えるよう、複数キャリア対応(docomo,au,softbank)の映像配信システムを活用したライブ中継を通じて、国土技術政策総合研究所や土木研究所等も参画し、技術的支援を開始
- 3月28日に福井県が設置した対策検討会に国土交通省職員も参画し、斜面崩落メカニズム、応急対策の方針等について、技術的助言を実施
- 7月18日に供用した仮設道路(迂回路)には、中部縦貫道の事業用地や、盛土材(約1.7万m³)の提供を実施
- 7月29日に開催した第2回対策検討会<参考②>において、地質調査結果、復旧工法、モニタリング方法等について、技術的助言を実施
なお、今後の降雨等の影響を考慮し、早期の応急的な措置が必要な崩壊斜面の土砂撤去については、安全確保の観点から、無人化施工<参考③>導入について、貸与も含めた技術支援を実施予定

引き続き、福井県の意向を踏まえ、被災箇所の早期復旧に向け、災害対策用機械の提供や技術的支援を展開してまいります。

<取扱い>

<配布場所> 福井県政記者クラブ、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 地域道路課
地域道路調整官 東岡 正樹(ひがしおか まさき)
課長 藤田 和志(ふじた かずゆき)
電話 06-6942-1141(代表)

<参考①> 国道158号の被災状況(福井県大野市上半原)

位置図



○被災状況

- ・発生日時: R7.3.19 5:20頃
- ・事象: 法面崩落
- ・人身・物損被害: 人身無、物損有(電柱)

■経緯

3/18(火) 11:30～全面通行規制

3/19(水) 5:20～大規模崩落が発生

12:00 福井県が当該事象について記者発表

17:45 近畿地方整備局が支援体制の記者発表

20:00 衛星通信機器(Ku-SAT)設置完了

3/21(金) 13:30 現地観察(福井大学荒井名誉教授、国、福井県、※国総研・土研はWEB)

15:00 対策検討 参加者同上

19:30 福井県が現地観察及び対策検討の実施について記者発表

19:30 近畿地方整備局が支援体制【第2報】の記者発表

3/25(火) 15:00 福井県が3/28第1回対策検討会開催について記者発表

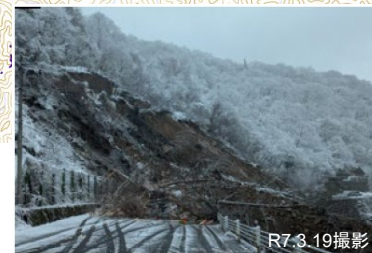
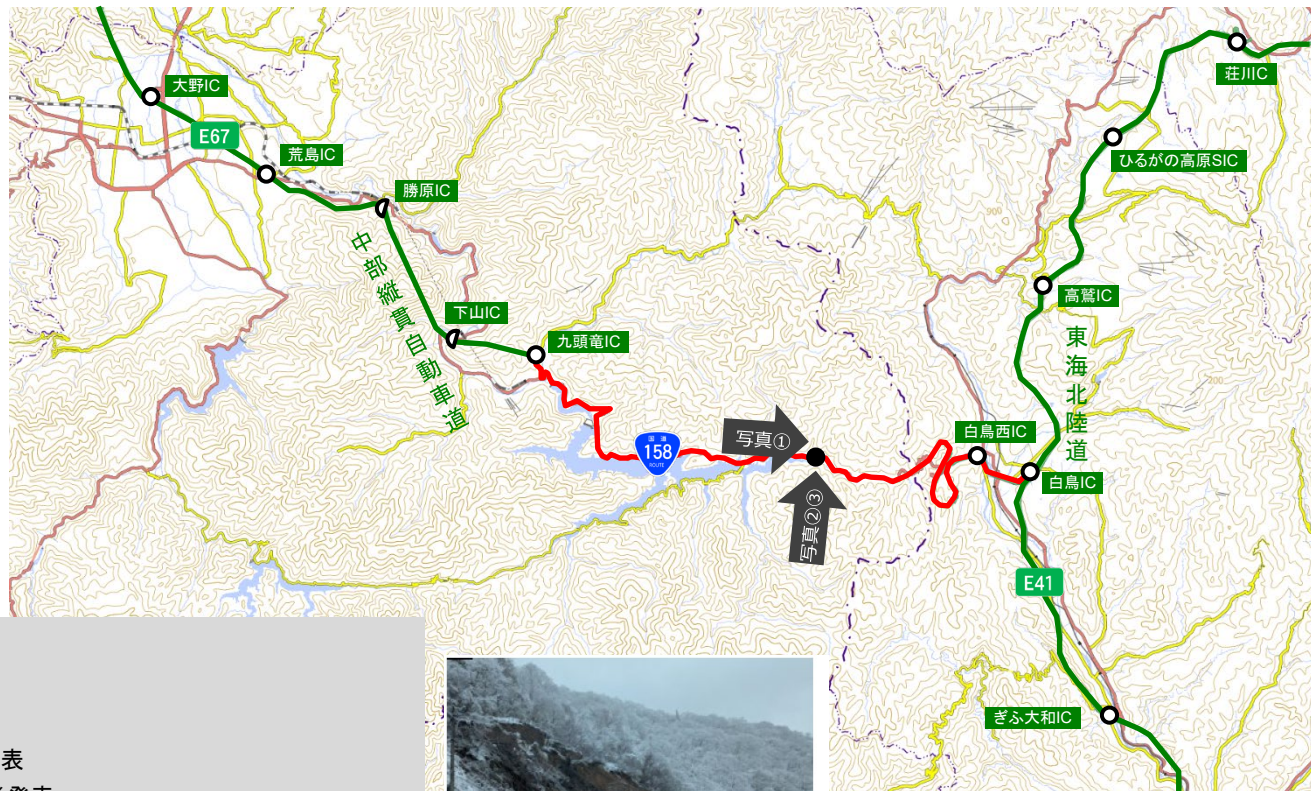
3/28(金) 13:30～第1回対策検討会開催

17:00 福井県が第1回対策検討会の結果概要について記者発表

17:00 近畿地方整備局が支援状況【第3報】の記者発表

7/18(金) 14:00～仮設道路(迂回路)開通

7/29(火) 13:30～第2回対策検討会開催



【写真①】福井県側より撮影



【写真②】正面より撮影



【写真③】仮設道路(迂回路)の状況

<参考②>

令和7年7月29日

福井県 道路保全課

担当者： 佐野、丸中

電話： 0776-20-0514

メール： dourohoz@pref.fukui.lg.jp

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する第2回 対策検討会 結果概要

令和7年3月19日（水）に発生した一般国道158号（大野市上半原地係）における大規模な斜面崩壊に関して、復旧対策等を検討するため、本日、第2回対策検討会を開催しましたので、結果概要をお知らせします。

1. 日 時
令和7年7月29日（火）13：30～15：10
2. 場 所
福井市大手3丁目17番1号
福井県庁 9階902会議室
3. 出席者
荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部
道路基盤研究室 室長）
伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所 副所長）
三田村 佳紀 （福井県 土木部 副部長）
鳥山 公裕 （福井県 奥越土木事務所 所長）
4. 議 題
・仮設道路（う回路）について
・地質調査結果について
・復旧工法について
・応急工事（応急的な措置）について
・モニタリングの管理基準値について
・今後のスケジュールについて
5. 結果概要
・別紙のとおり

一般国道１５８号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する
第２回対策検討会 結果概要

- 1 日 時 令和７年７月２９日（火） １３：３０～１５：１０
- 2 場 所 県庁９階 ９０２会議室
- 3 出席者 <委員>
荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物
研究部道路基盤研究室 室長）
伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所
副所長）
三田村 佳紀（福井県 土木部 副部長）
鳥山 公裕 （福井県 奥越土木事務所 所長）
- 4 議 題
 - ・ 仮設道路（う回路）について
 - ・ 地質調査結果について
 - ・ 復旧工法について
 - ・ 応急工事（応急的な措置）について
 - ・ モニタリングの管理基準値について
 - ・ 今後のスケジュールについて
- 5 結果概要
 - ・ 地質調査結果より、すべり面の位置（図１）について妥当であると確認。
 - ・ 第１回検討会で説明された斜面崩壊の発生メカニズムについて、地質調査結果と合致していることが確認された。
 - ・ 斜面崩壊の本復旧については、比較案より「排土およびのり面对策（アンカー工）」にて現道を復旧する案（図２）が妥当とされた。これにより、今後、詳細な検討を進めていく。
 - ・ 安全性の向上や今後の大規模崩壊を防ぐための応急的な措置（写真１）を県が本検討会で提案し妥当とされた。今後、施工条件などを確認しながら、無人化施工導入について、国の貸与も含めて検討を行うこととなった。
 - ・ モニタリングの管理基準値について、「現地作業中止の管理基準」は、妥当である。
 - ・ 今後、必要に応じて検討の場を設けることで了承を得た。
- 6 その他
今後、災害復旧事業として施行していくために、国土交通省と協議を進めていく。

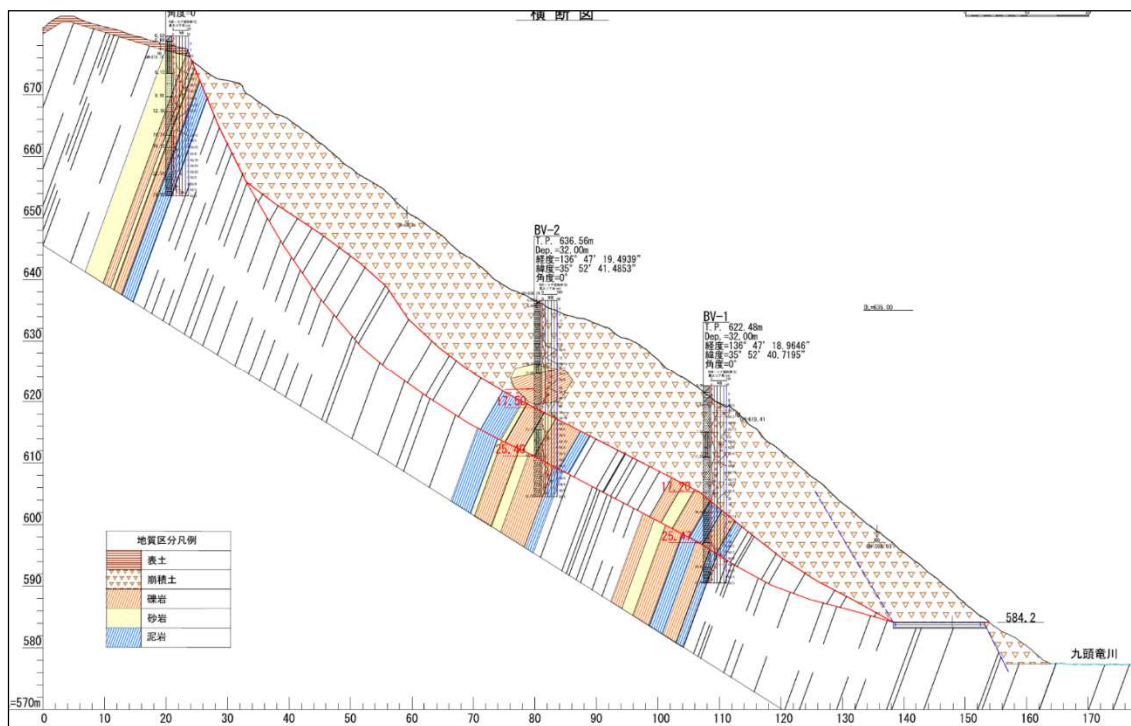


図 1. すべり面の位置

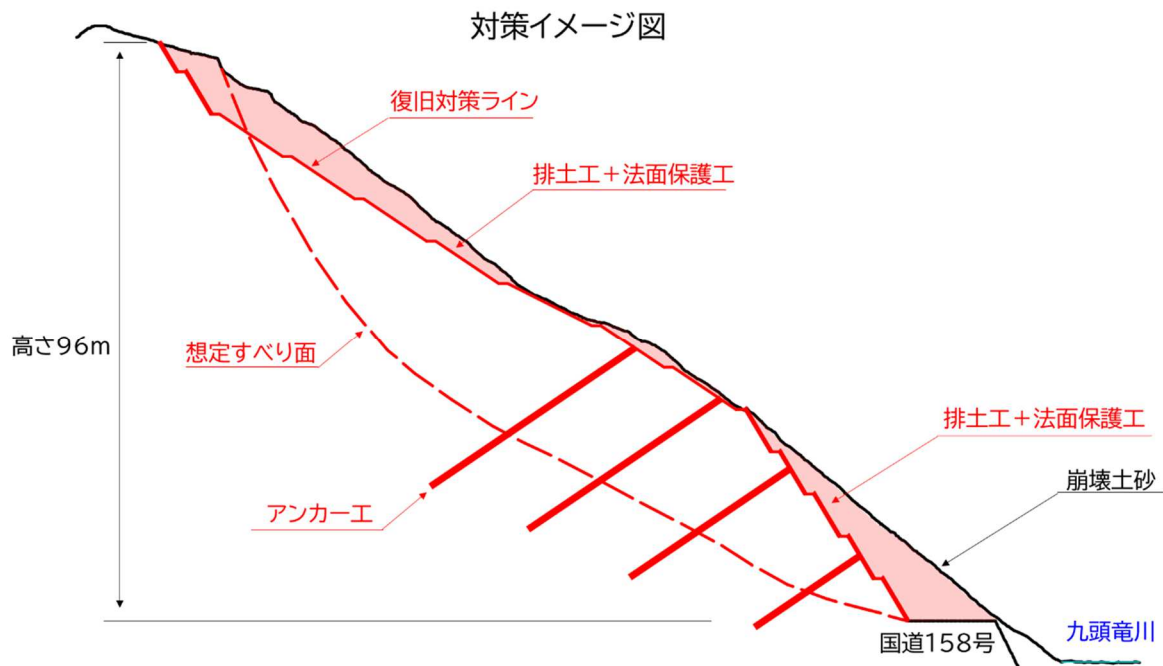


図 2. 排土およびのり面对策（アンカー工）にて現道を復旧



写真 1. 応急的な措置（排土工）



写真 2. 第 2 回対策検討会 開催状況

<参考③>無人化施工技術

■簡易遠隔操縦装置〔ロボQS〕

簡易遠隔操縦装置〔ロボQS〕は、一般のバックホウ（油圧ショベル）専用の遠隔操縦装置です。

既存のバックホウを改造することなく、簡単に取り付け、安全な場所から遠隔操縦が可能です。二次災害の危険がある現場で活用しています。



■分解対応型バックホウ

土砂崩れ等が発生した場合、被災現場への進入路が寸断されていても分解することにより空輸できます。

また、進入路が狭い道路でも運搬が可能となります。

人が搭乗して行くことの出来ない危険な場所でも、無線により無人で安全な所から遠隔操縦で作業ができます。

九頭竜水系足羽川左岸
（福井県福井市蔵作町地先）



令和3年に発生した斜面崩落による土砂災害対応で福井県に貸与実績あり

作業状況



オペレータ操縦状況



平成29年（土砂ダム仮排水路設置）【奈良県十津川村栗平地先】